

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	29年度から新体制になって、ファミリーの理念に基づいたケアの実態に努めてこられた。今後はあらためて、理念にある「心のふれあい」「心からのケア」の実践状況を職員全員で振り返りをしていく予定である。	職員全員で、ファミリーの運営理念に込められた言葉の意味を理解し実践する。	①毎朝夕の申し送りの際に、全員で音読する。 ②毎月のミーティングの際に、言葉の意味を考える時間を設ける。	3 ヶ月
2	(13)	23領域に基づいたアセスメントシートを新たに作られている。ADLの能力やIADLの「できること」「介助内容」「各活動の要望」「できそうなこと」を記録し、介護計画に活かすと共に、家族との担当者会議を増やす予定である。	職員全員（ケアマネージャー・看護師・介護士）で、利用者の介護計画作成に尽力すると共に、ご家族との会合（会話の機会）を増やす。	①看護師・介護士によるアセスメントシート作成、ケアマネージャーによりモニタリングを行う。 ②サービス担当者会議だけでなく、面会に来られた時、イベントの際等にご家族との会話を増やす。	6 ヶ月
3	(17)	ご利用者との会話の中で語尾や語調が強くなる時がみられるとのこと。今後も職員個々が自分の言動に気づき、人格を尊重した声かけができるように努めていく予定である。	「スピーチロック ZERO」を目指す	①「スピーチロック」に対して現状把握のアンケートを取り、意識を高める。 ②職員相互に注意しあえる環境をつくる。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月